

～会長の時間～

【五大奉仕 クラブ管理編】

公共イメージ

ロータリーの公共イメージ

国際ロータリーの戦略計画には優先項目が3つあります。「クラブサポートの強化」「人道的奉仕の重点化」、そして「公共イメージと認知度の向上」です。本日のお話のテーマである「公共イメージと認知度の向上」とは、ロータリーについて知っていただき、そして良いイメージを持っていただくということです。その具体的な目標として以下の5つが掲げられています。

1. 「イメージとブランド認知を調和させる」
2. 「行動を主体とした奉仕を推進する」
3. 「中核となる価値観を強調する」
4. 「職業奉仕を強調する」
5. 「クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な行動について周知を図るよう奨励する」

外部の方から「ロータリーとは何ですか」と尋ねられて短い言葉で端的に説明できる方は、私たちロータリアンの中にもそういないと思います。また、答えられたとしても、その答えは人によってさまざまかと思われま。なぜならロータリーは多様性を重んじ、会員のタイプもさまざまですし、クラブごとに活動内容も異なります。それがロータリーの良いところですが、同時にロータリーがどのような組織なのか説明を難しくしている点でもあります。

そこで、外部の方がロータリーを見たとき、誰もがロータリーという名を連想し、どのような組織で何をしているかということが分かるようにしよう、というのが、今、国際ロータリーで進めているブランディング、つまりブランド構築ということです。では、RIはどのようにロータリーというブランドを構築しようとしているのか、RIの戦略計画に沿って考えてみたいと思います。まず、最初に挙げられている「イメージとブランド認知を調和させる」という目標ですが、ロータリアンでない方が、いったいどのようなことからロータリーに対するイメージを持たれるのでしょうか。それは、ロータリアン一人一人の振る舞いや行動ではないかと思われま。自分の身近にいる一人か二人のロータリアンのイメージや印象によって、ロータリー全体を見ておられるのではないかと思います。

(ロータリーの友編集長 二神 典子氏の卓話より抜粋)

あわら市社会福祉協議会



会長
関 法子様



総務企画課次長心得
平田 豪様

五条RC石井様

富有柿をいただきました！



ありがとうございます

夜遊び計画中！



ただいま充電中～！

